

先進急性期医療センター(ICU)に通院中の患者さんまたはご家族の方へ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 集中治療における理学療法の効果検証

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院先進急性期医療センター 助教 和田剛志

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道大学病院先進急性期医療センター 助教 和田剛志

[共同研究機関名・研究責任者名]

三重大学医学部附属病院救急・集中治療センター 教授 今井寛

札幌東徳州会病院救急科顧問兼侵襲制御救急センター長 丸藤哲

[研究の目的]

ICUで人工呼吸器をつけて加療された患者さんに対する、理学療法の効果を検討するため

[研究の方法]

○対象となる患者さん

2007年1月1日から2012年12月31日の間、先進急性期医療センター(ICU)に入院し、人工呼吸器をつけた方

○利用するカルテ情報

カルテ情報：診断名、年齢、性別、身体所見、病歴、検査結果(血液検査、画像検査)重症度、理学療法の有無、血液浄化療法使用状況、人工呼吸器をつけた期間、ICU在室期間、転帰

この研究は、当院協力病院でICUにて人工呼吸器をつけた重症患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、理学療法効果の統計解析のために、三重大学医学部附属病院救急・集中治療センターに、電子的配信で送付します。

2013年12月31日までのカルテ情報を利用します。

[研究実施期間]

実施許可日～2018年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院先進急性期医療センター

担当医師 助教 和田剛志

電話 011-706-7377 FAX 011-706-7378